

和楽器ユニットおとぎメンバー



川村 旭芳-Kyokuho KAWAMURA (筑前琵琶・歌・語り／おとぎ代表)

神戸市出身在住。筑前琵琶日本旭会 総師範 故二代柴田旭堂師のファンだった母の勧めで、8歳の頃、師に入門。

現在、筑前琵琶日本旭会 師範。門人会「筑前琵琶川村旭芳会」主宰。古典曲を継承しながら新作の創作にも取り組み、阪神・淡路大震災の追悼曲はじめ、母川村素子の作詞による作品も発表。

1998年～2010年 和楽器オーケストラ 邦楽合奏団「鼎」(KANAE)に所属。

2011年 CD『源平一ノ谷合戦』および『川村旭芳作品集～母娘合作集～』発売。

NHK FM「邦楽のひととき」ほかテレビ・ラジオ出演。

動画配信サイトYouTubeに「きよくほうチャンネル」公開中。

◆川村旭芳オフィシャルサイト <http://www.kyokuho-biwagaku.jp/>



木場 大輔-Daisuke KIBA (胡弓／作曲・編曲)

淡路島出身。甲陽音楽学院にて音楽理論とピアノを学ぶ。古典胡弓を原一男師に師事。一方で文楽、風の盆など日本各地で伝わる胡弓の奏法を研究。

それらを組合せた演奏法の開発や、低音域を拡張した四絃胡弓の開発、作曲など、胡弓の伝統に新たな光を当てている。

2021年より、東京・紀尾井小ホールにて胡弓リサイタルを毎年開催。

NHK Eテレ「新・にっぽんの芸能」や国立劇場主催公演への出演など、

古典から現代邦楽、異分野との共演まで幅広く活動中。

作曲では日本を軸に世界の伝統楽器との作品まで展開している。

「木場大輔 胡弓の会」「絹擦会」代表。

◆木場大輔 Facebook ページ <https://www.facebook.com/kokyukiba/>

◆木場大輔の胡弓のいろは <http://kokyu168.seesaa.net/>



折本 慶太-Keita ORIMOTO (箏・十七絃・二十絃・三絃・尺八)

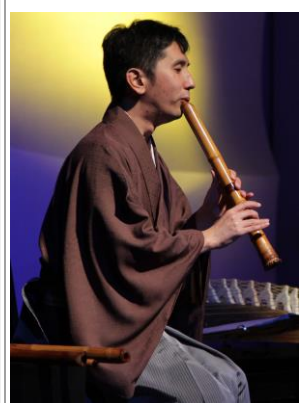
愛媛県出身、大阪市在住。尺八を橋本岳人山師に、箏・三絃を狩谷趣讓師に、十七絃・二十絃を宮越圭子師に師事。尺八、箏、十七絃、二十絃、三絃奏者として国内外で演奏。特に2015年、2019年開催のソロリサイタルでは、一人で五つの楽器を演奏するという稀なリサイタルを行う。リリースしたCDは10枚を超える。

現在、都山流尺八 師範(折本岳慶山)。

生田流箏曲新絃社 蒼竜軒(折本大人樹)。新絃社三代家元補佐。

神戸大学国際人間科学部 非常勤講師。大阪国際大学 非常勤講師。

NHK邦楽技能者育成会46期卒業。



安田 知博-Tomohiro YASUDA (尺八・篠笛・朗読)

熊本県山鹿市出身、京都市在住。10歳より尺八を始める。21歳で都山流師範となる(峰山と号する)。さらに、石川利光師に師事し、古典本曲と琴古流を学ぶ。

熊本で開催される「長谷検校記念全国邦楽コンクール」において2003年および2005年 優秀賞を2度受賞。関西および熊本県各地にて自主公演を開催する他、スクールコンサートや和楽器体験授業にも積極的に取り組んでいる。

ナレーターとしては、盲学校在学中に、全国高校放送コンテストの朗読・アナウンス部門で史上初の3年連続優勝。第70回記念選抜高校野球大会で式典アナウンス。

現在、NHK Eテレ「バリバラ」で、副音声のナレーションを担当中。

ピアニストの石田綾との共同企画「ピアノ×尺八 まぜるな危険」も好評を博している。